

2024年12月25日
SOMPOケア株式会社

SOMPOケア、小池 東京都知事へ「介護の学習まんが」を贈呈 ～介護を子どもたちの憧れる職業に～



SOMPOケア代表取締役社長 鷲見（左）と小池都知事（右）

SOMPOケア株式会社（代表取締役社長：鷲見 隆充、以下「SOMPOケア」）は、介護を学ぶ学習まんが「大研究！笑顔をつなぐ！介護の仕事」を、2024年12月19日に東京都庁にて東京都・小池百合子知事へ贈呈しました。

1. 介護を学べる学習まんが制作経緯

少子高齢化が進み、高齢者人口が年々増加している日本においては、介護サービスを必要とする人に対し、介護サービスを提供する人が圧倒的に不足する「介護人材の需給ギャップ」が深刻な課題となっています。SOMPOケアではこうした社会課題に対する施策の一つとして、従来の介護職に対するイメージを変え、介護職を子どもたちの憧れる職業にしていくための取組みを行っています。2022年11月には「SOMPO流 子ども食堂」を開始し、2023年7月にはキッズニア東京に、介護福祉士の仕事を体験できるパビリオン「ケアサポートセンター」を出展しました。そして2024年11月、子どもたちがもっと気軽に高齢者の身体の変化や介護の仕事などについて学び、介護の魅力に触れる機会を創出するために、介護をテーマにした学習まんがをSOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役社長：奥村 幹夫）と制作しました。

※「大研究！ 笑顔をつなぐ！介護の仕事」電子ブックはこちら⇒https://www.sompocare.com/kai_go_manga/



2. 小池都知事への介護まんが贈呈式実施の経緯

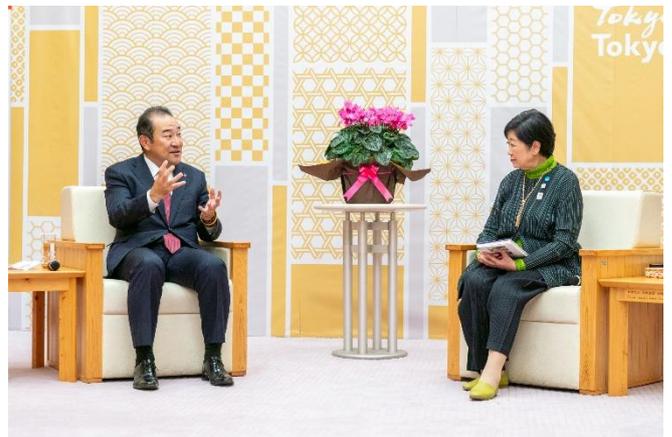
制作した学習まんがは、2024年11月に、全国の小学校約20,000校、公立図書館約3,000館へ寄贈を行いました。今般の寄贈に際し、全国で小学校・公立図書館が最も多く、またSOMPOケアが運営する介護施設・事業所も最も多い東京都にて贈呈式を開催する運びとなりました。

3. 贈呈式の様子

2024年12月19日の贈呈式では、鷺見から小池都知事へ介護まんがの贈呈を行いました。

小池都知事からは、2024年6月にSOMPOケアの企業内大学「SOMPOケア ユニバーシティ」を視察されたことや、子どもたちに介護について伝えていくことの重要性などのお話がありました。また、鷺見からは、東京都が独自に実施している介護・福祉職員等を対象にした「居住支援特別手当」への感謝を述べるとともに、従来の介護職にある「3K」のイメージを「変えていく」、「価値ある」、「感動できる」の「New 3K」に変革していくことの決意や、子どもたちに介護をもっと知ってもらうための取組みについて説明がありました。

その後、現在の介護人材の採用状況や、介護現場に導入されているテクノロジーについて語り合いの場が設けられました。



4. 今後について

SOMPOケアは今後も、「日本の介護を変える。そして、日本の未来を創る。」というパーパスを実現するために、品質を伴う生産性向上を実現する「未来の介護」推進など、「介護人材の需給ギャップ」という社会課題解決に取り組んでいきます。そして、子どもから高齢者まで誰もが笑顔で暮らせる未来社会の実現を目指します。

以上